

浄土

monthly
JÔDO

May 2002

5

特集大本山光明寺



法然上人鑽仰会

ブロードバンドは、サービス品質で選ぶ。

世界を繋ぐ 未来につなぐ
日本テレコム

ODNのADSLは最大1.5Mbpsの
超高速インターネット

*回線速度は、あくまでも理想値で保証されるものではありません。
また、提供局からの距離などの要因により変化することもあります。

コンテンツも充実

ODNの「ブロードバンドチャンネル」は、音楽やスポーツ、エンターテインメントにドラマ、料理など楽しい内容が盛り沢山。

さらに大幅値下げ!

2,880円/月
24時間
常時接続

○初回費用6,000円～
○モデムレンタルの場合 500円/月
*NTT東日本・西日本の回線使用料として187円/月(タイパ)が別途必要です。
*記載の価格は消費税別
(平成15年10月現在)

サービス
提供エリア
拡 大 中

札幌・仙台・東京・立川・
国分寺・武蔵野三鷹・千葉
市川・川崎・横浜・浦和・
川口・名古屋・京都・大阪
茨木・寝屋川・八尾・岸和
田貝塚・堺・和泉・神戸
北九州 (平成15年8月10日現在)

*上記のエリアであっても、ご提供できない場合があります。詳しくはホームページ、またはテレホンサービスでご確認ください。

[提供エリア案内センターサービス]

☎0088-222-3575

[提供エリア検索ホームページ]

<http://www.odn.ne.jp/~dsl/>

ODNフレッツADSLプランもあります。

大幅値下げ

日本全国
エリア拡大中

無料サポート
365日

安心の
回線システム



初心者でも安心の
サポートサービス

お問い合わせ (ODNサポートセンター J-DSL担当デスク)
お申し込み (受付時間) 9:00～18:00 (年中無休)

☎0088-222-375

日本テレコム
ならではの
保守管理体制

インターネットは日本テレコム

ODN
Open Data Network

ODNのADSL
J-DSL
パーソナル

大本山光明寺第一一二世晋山 開山堂落慶

関東の浄土宗発展の拠点となった
大本山光明寺。開山上人は浄土宗の
第三祖良忠上人だが、その開山上人
をお祀りする開山堂が生まれ変わる
とともに、新しく宮林昭彦台下が第
一一二世ご法主に上げられた。
桜満開の光明寺、お祝いに訪みえ
になられた大本山善光寺大本願の
司誓玉台下との記念の写真とともに
新法主のインタビューをお届けする。



山門前での新法主宮林昭彦台下。



光明寺を開山された良忠上人のお墓は光明寺裏山の山腹にある。長野のご出身の新法主は善光寺大本願と縁が深いこともあり、お祝いにお見えになられた鷹司監玉台下を新法主みずから案内をされた。



装いも新たになった開山堂の前でのご法主お二人での記念写真。





インタビューに手振りも交え
お答えいただいた新法主。



参道入り口に立つ関東総本山の石碑。



光明寺の正式名称は天照山蓮華院光明寺。
関東を代表する浄土宗の古刹だ。



裏山から光明寺の伽藍と湘南の
海を望む。

祝

大本山光明寺第一一二世晉山、開山堂落慶

大本山光明寺第一一二世

宮林昭彦台下 に聞く



毎朝の法話が縁を結ぶ

まずはじめに、このたびの晋山、そして落慶のこと、まことにおめでとうございます。また本日は貴重なお時間を本誌のインタビュースタッフにさいていただき、まことに有難うございます。

いま、貴重なお時間と申されましたが、こちらに入って、時間の大事さということを、いつそう強く感じます。たとえば朝の勤行のあと、法話をいたしますが、毎朝聞きに来られる方が大勢いらっしゃる。私もその方たちも同じように、ともに日課になっているのですね。その方々たちとの機縁ということを考えます。対機説法ということ。話す側と聞く側のとてもよい関係、そんな時間を過ごします。毎朝必ず来られる方がいらっしゃる。ということは講演などよりずっと大変なことです。聴衆が全然違う方々であるならば、同じ話、といってしまうと語弊がありますが、ある程度同じテーマで話せますが、聴衆がいつも同じであるということは同じ話ができないわけで、いろいろと法話のヴァリエーションを考えています。まさにお互いに貴重な時間のなかでひとつひとつ少しずつ前に進んでいくように考えながら、お話をしております。

お勤めのあと、午前中はどういう風にお過ごしになりますか。

たくさんの方とお会いしますが、そういう約束のないときは、読書をします。いままでは、ある意味で研究のための、つまり仕事としての読書、あるいは資料の読み込みといった感覚でしたが、こちらではいわゆる本当の読書、読みたい本をつれづれなるままに読む、というのでしょうか。三祖さまのお伝記などをゆったりとした気持ちで読む、そういう至福の時間を過ごします。もちろん書き物の依頼などもたくさんあって、そういうお約束をひ

とつひとつ果たしながら、ですが。

長年いらつしやった学問研究の畑とは少し違う場所、違う角度からの読書ですね。そういう意味で鎌倉はとてもよい環境ですね。

空気がおいしいのです。山と海、自然のなかにある自分というものを感ずります。散歩をしたり、土いじりをしたり、そうそう、たまには午睡というものをしてみようかなどと思うのですが、長年の大学での習慣がありましてね、なかなか板につかない。三日坊主になってしまいます（笑）。ペースができない、というのかな。しかし、それもまた自分の自然体なですね。無理にのんびりしようとしても仕方がない、と思つています。

旅ということ、人生ということ

趣味ということでは、どんなことが御趣味ということになりますでしょうか。

旅、ですね。これは昔から好きでした。インドへの旅行にはよい思い出があります。何人かのチームで釈尊の国を旅行しました。インドからパキスタン、アフガニスタンも通りました。いまではとても危険な地域ですね。カブール、イスラムバード、それから玄奘さんの通った道。敦煌、楼蘭。もちろんバーミヤンの仏教遺跡も見ました。そこからジープを借りたりして、昔のソ連へ。全行程二十四、五日をかけて行きました。イスラムにもよい印象をもちました。忘れられない旅行のひとつです。百聞は一見に如かず、といいますが本当だと思いました。カブールでたまたま散歩をしていて、有名な探検家スタインのお墓をみつけたりしました。ガイドブックにはない発見でした。アメリカやヨーロッパにも行きましたし、国内のさまざまなところにも行きましたが、旅の素晴らしさは、同じ所に

何度行つても、つねに新しい発見があるところです。

旅といえは、この光明寺の開山上人であられる三祖さまも、随分と全国を歩かれていますね。

そうです。出雲から生仏法師とともに九州へ行かれた。二祖さまにお会いして浄土の宗要をことごとく相伝され、芸州、京都、長野の善光寺。上野、下野、常陸、武蔵。そして鎌倉。やがてまた上洛してもう一度、鎌倉に帰つて来られた。あの時代の旅ですから、いろいろな困難があつたことでしょうに。三祖さまの偉業には頭が下がります。

今日はお約束の時間よりだいぶ早く到着してしましまして、裏の天照山に登り三祖さまのお墓ほか歴代御法主のお墓にお参りさせていただきました。何度かお参りしているのですが、天気よかったこともあつて、とてもよい気持になつてしまいました。こちらの大本山は人間を萎縮させないのですね。權威、威厳という点では、もちろんそれを強く感じさせるのに、なにか優しく包み込んでくれる、親しみやすい空間感覚があります。

そうでしたか。それはそれは。あの道の途中から見える伽藍と桜、その向こうの材木座の海、この季節もまたなんともいえないよい景色です。心が晴れ晴れとしてきます。その意味で、今度完成した開山堂も木造のよさということを生かしています。この鎌倉の大本山の特徴をそのまま生かしている。閉じていかずに自然と開いていく。み教えを伝えるときも、難しい概念をそのまま伝えるのではなく、日常の言葉で伝えたいのです。

仏教を現代の言葉で

現代をどう見るか。現代を仏教のまなこで見る。こういうことが必要です。生きるための仏教、生きるためのお念仏を伝えたいのです。み教えを狭くすることなく、私たちが生きていく現代の言葉で、広く、あるがままに語りたい、伝えたい。それが私のテーマです。暗い世相ということもあります。陰湿な人間も増えている、まさにそれが現代の病理のひとつですが、彼らこそ救いを求めているように思えます。

その答になるかどうかわかりませんが、いま私はお経のなかに出てくる懺悔ということ、どう読んでいくのか、深く考えています。広懺悔などをもう一度よく読んでみています。初心に帰る。多感な年代に受けた感動、信仰のありかたを真剣に自分に問うた時代、そういうものをもう一度思い返してみたい。いま私も生かされている。それをまさに実感として伝え、説いていく。人はみな、生かされているのです。光明寺に入ったことも、その生かされている自分の出会ったひとつの機縁です。一日、一日を大事にする、お念仏の生活を大事にする、そうすれば自然に開かれていく、救われていくのではないでしょう。

本日はまことに有難うございました。
できあがったばかりの開山堂を
見学させていただきたいのですが。

はい、どうぞ。
私が御案内いたしましょう。



お祝い

大本山善光寺大本願 鷹司誓玉

この度は大本山光明寺様祖師堂落慶並に宮林法主台下の御晋山誠におめでとう存じます。宮林台下は長野市の近くの更埴市長福寺のお生れで高校は長野の北高で学ばれた由、私どもの大本願とはそれ以前からの永い御縁があつたそうです。ございます。

即ち先生の御祖父宮林大廉上人は大正年間から昭和初期にかけて近郷きつての名布教師でいられ、大本願の先々代大宮上人（第百十九世善光寺上人）御親修の折には御巡錫の各地でいつも御代説を担当されたと承っております。昭和十六年横浜大光院に移られ浄土宗の教線拡張に尽力せられ、その薰陶を受けられた宮林先生も（御法主認証までのお若い時代については失礼ながら先生とおよび申上ます）ここを本拠として専ら宗学の研鑽を積まれ大正大学教授のかたわら一般信徒への教化にも努めてこられました。

昭和三十八年一條上人が第百二十世法主に就任の後は日本に自由

化の波がおしよせ国際交流も盛んとなり、一條上人にも海外からの招請がふえハワイ開教区での五重相伝や真珠湾戦没者慰霊法要、台湾北投善光寺への御親修などには先生にもお忙しい大学勤務の間をぬって御同道勸戒師等お勤め頂き一條上人は最も頼りとしていました。私も亦晋山後はじめて五重相伝をつとめた（平成十一年大本願）時にも宮林先生に行き届いた御勸戒をして頂き心から感謝して居ります。

善光寺では近年まで一日たりとも正副住職が揃ってお寺を留守にする事は出来ませんでした。が時流の変化と一條上人の御尽力により年に一度ぐらいいは揃って旅も出来るようになりました。平成元年宮林先生並に法類の方々のお世話で訪台「日華仏教文化交流」の七日間の旅に副住職の私も始めてお伴できたのは楽しい思い出でございます。この他省みますと重々無尽の法縁に恵まれ誠に有がたく感謝のことばもございません。御法主になられても相変らずよろしくお願い申し上げます。

法主台下の御健勝と大本山光明寺のますますの御発展を祈念申し上げます。

大本山光明寺

の縁起

三祖良忠上人
のこと

前執事長
宮澤善弘

この度、当寺においては永年の懸案であった開山堂の再建が成り、含めて附属棟の建設、境内の大改修なども終了しました。

平成八年度より取り掛かった総合点検整備計画でありましたが、これで第一期の総門ならびに山門の補修と大清掃、駐車場の全面改修等と併せて、前後七年に及ぶ大計画のハードの部分は終了ということになりました。

勿論ソフト面の諸課題はまだまだ残りますが、ひとまずそれは措いて、開山良忠上人御生誕八百年記念という目的を果たし、来る宗祖法然上人八百年の大遠忌をお迎えする基盤が整ったことになりました。

思えば本事業に寄せられた全国からの莫大なるご支援、陰陽に亘る無量のご協力に對しまして、ここに一山挙げて御礼を申し上げる次第でございます。

この間に第百十一世法主戸松啓真台下のご遷化を見、第百十二世法主には宮林昭彦台下のご晋董を頂いたのでありますが、晋山式は

事業が完結してからとの、台下の切なるお心馳せもあつて、平成十四年五月二十二日に落慶式と晋山式を続けて挙行する運びとなつたのであります。

本誌ご当局におかれてはこの機会に『光明寺特別号』を発行されるということで、当山の縁起、開山上人のことなどをと、執筆のご依頼でございますので、真に不敏足らざる者でございますが、お引き受けいたしました。

まず主題に就いて思いますことは、昭和三十七年四月七日発行の「浄土宗神奈川教区寺院誌」に、時の当寺第百八世大野法道台下が綴述されておりますので、これを依拠とさせて頂き、敷衍して記述することとしました。

開山上人のお呼び名については、大方ご承知の通り、記主禪師然阿良忠上人と申し上げるべきところ、一貫して上人で通します。

上人は岩見国（島根県）那賀郡三隅庄に正治元年（一一九九）七月に生まれ、性鋭敏にして強記、十六歳で得度されてから時代の碩

学諸師に就いて天台・俱舎・真言等を学び、
ついで奈良興福寺勝願院の良遍について法相
を、道元に禅を、律を泉涌寺にというように
修学を重ねられました。

その後、嘉禎二（一二三六）年に福岡県八
女市にある天福寺において、浄土宗第二祖聖
光房弁長上人について師弟の約を結び浄土宗
の第三祖になられたのであります。

その後、芸州（広島）、京都、信州（善光
寺）、上野（群馬）、下野（栃木）、常陸（茨
城）、武蔵（さいたま）等に教えを弘め、そ
の間、報夢鈔五十余帖といわれる多くの著述
をなされました。

大野台下のご記述によると、最後に下総
（千葉）から鎌倉に移られたのは正元二（一
二六〇）年三月から六月（文応元年、改元）
の初旬の頃であったとされています。

丁度、大仏さまを鑄造するために動いてお
られた勧進聖の浄光を訪ねられました、そ
の時の道中の様子は、門弟共々竹笈をしよい

多くの馬に荷をおわせ、馬の口を引いて来る
ので道行く人は嘩然として振り返ったと伝え
られます。

上人が鎌倉に入られた理由はそれ程定かで
はございません。

しかし、九州で二祖より法を伝えられた時
の『我が恩を報ぜんと欲せば、都鄙遠近をい
とわず浄土の教えを弘めよ』というお言葉が
大きく影響していたように思われます。

何はともあれ浄土聖の好意によつて一坊が
しつらえられ、弟子達は市中において自活を
営み、作物を育てそれを売るなどして生活し
つゝ念仏伝弘に努められたと伝えます。

上人六十二歳の頃で、後々永く記主畠とか
記主菜、記主大根という名残りが民衆の口伝
えにうたわれていました。

慶安版の然阿上人伝に「その後鎌倉に入り
初め大仏谷に住し、後に悟真寺に住す」とあ
ります。

悟真寺というのは、武蔵前の司建立し、佐

介谷に在りと説明されています。

武藏前司というのは北条朝直と申す人で、通常光明寺の開基といわれる北条経時（第四代執権）ではありません。大野台下の記述によれば、良忠上人ご在世の頃佐介谷にあつたのは悟真寺であり、後日、名越に在つた蓮華寺に悟真寺が併合され、今日の蓮華寺跡と呼ばれるようになったのではあるまいかと、そういう推測につながるのだと思います。

執権第四代の北条経時の法名は「蓮華寺殿安樂大禪定門」といわれ、今は光明寺の裏山にある歴代御廟所に供養塔が移されておりますが、経時は蓮華寺の開基であることによつて悟真寺が併合された時、そのまゝ開基として受け継がれ、蓮華寺と改むという時にも、そのまゝで光明寺の開基とされたと考えるのが史実に即していると思われます。

蓮華寺が創建されたのは仁治元（一二四〇）年といわれ、北条経時が関わりをもつて伝えられる所に矛盾はないと思います。

上人が光明寺に止錫の年限は、それから二十七年、弘安十年（一二八七）七月六日、八十九歳のご入寂まで続けました。

上人の主たる著述活動は大変有名でありますが、宗乗の専門分野に入ることにありますのでこの際割愛させて頂きます。しかし、その活動に對しまして永仁元（一二九三）年伏見天皇より「記主禪師」の勅諭がありましたことは、正に特記すべきと思います。

さて当寺はその後の明応四（一四九五）年第九代觀誓祐崇上人の時、後土御門天皇より勅願所の綸旨を受け、また、十夜法要奉修の勅許を得て現在十月十二日より十五日までの間に厳修し、十夜法要は本宗々定の大法要として全国で奉修されるように位置づけられております。

なお当寺は武門との関りが濃く、初めは鎌倉幕府と、次いで徳川幕府とは家康を介して関東本山の呼称や檀林の位置づけ、寺領や御朱印百石の下賜などがあり、万治二（一六五

九）年には陸奥国磐城藩主内藤家の入檀・二

百石の寄贈などがありました。内藤家はその後日向国延岡に転封されましたが、明治維新まで、枝藩湯長井内藤家と共に有力檀家として、現に大規模な大名墓地を遺しております。

大正十二年の大震災で多くの堂宇が大破または倒壊しましたが、この度の落慶式をもってほぼ完全に立ち直ったと申せましょう。

昭和三十（一九五五）年三祖良忠上人の御遺跡地として、その由緒と規模をもつて大本山に昇格し、以来名実ともに発展を続けておる昨今であります。

さて当寺に参拝される皆さんの印象は、一様に開放的であるとされることであります。

寺が特にそうあろうと努力しているわけでもありませんが、そうらしいのです。

かつて作家の安西篤子さんが、ご自分の体験から、昔は浄土宗の学問所であったとか、関東十八檀林の筆頭であったとかを示す石柱や、関東最大級といわれる山門などをご覧に

なつて『このどちらも威厳を示すものといえбайえるが、少しも權威的に映らない。もちろん安っぽいという意味ではなく、とつても親しみやすい寺だ。広々とした境内にはソテツが植えられ、南国ムードさえ漂っている』と書いておられます。

私たちは、その開放的であるという特長は是非長く持たせ続けなくてはならないと考えています。当寺は浄土宗の大本山であります。万人普益といわれる大慈悲阿弥陀如来様を本尊と崇める寺であります。その大本である本山が閉鎖的であるとか、堅苦しいなどいわれては困ります。

この寺が学問寺であるというようなたらきをして来たのは歴史の事実です。それはお坊さんの養成という、つまり学校の使命を負わされていた側面であつて、これが前面に現われて、取りつく島が無いというようではないけません。寺の使命は衆生の救済でありますので、取りつき易い、開放的であるというこ

とこそ大切で、そのような伝統を守り続けて来たからこそ、皆さんに開放的だと見えるのでしょうか。

私たちはそう思われることを無上の喜びと感じております。

もう一つ大切なことは、この寺が念仏宗（浄土宗）の本山であるという点であります。ナムアミダブツと仏の御名を称えるという教えは、誰でもが死ぬという、ついに逃れぬ死に堂々と立ち向かっていく身心の構えと態勢を支える力づけであり、最期は慈悲深きアミタ如来のふところに抱き抱えて頂けるといふ安堵の思いの収得であります。

上人がここに配意された事実があります。『勅修御伝』（四十八巻伝）という宗祖法然上人様の最も権威ある御伝記の中の、第四十六巻をひもとくと、然阿弥陀仏といって上人に関する記述を見ることが出来ます。

これは、建治二（一二七六）年上人七十七歳の時、老体を鞭打って京に上られ、ご自身

が伝承された宗義（信仰）の正確さを確かめ合わされた事実が述べられています。

平成三（一九九二）年第三刷発行『一枚起請文のこころ』において、増上寺前の御法主故藤堂恭俊台下は、その書の巻末年表に『建治二年七十八歳九月、慈心・礼阿の特請を受け京都に移る。在京中源智門下の蓮寂房信慧と赤築地に会合す』と注記されています。

二祖様から受け継がれた法然上人のみ教えの中枢、これを『念死念仏』と承知した内証を確める。このことが上人をして京に走らせた原因であったと、私はそう思っています。学問を超越した信仰の世界での決着、これが当山を開放的とさせる根底にあると見るのは考え過ぎといわれるかも知れませんが。



浄土

2002/5月号 目次

カラーグラビア大本山光明寺	小堀祐二	1
大本山光明寺第百十二世晋山・開山堂落慶		5
インタビュー・宮林昭彦台下に聞く		6
お祝い	鷹司誓玉	12
大本山光明寺の縁起	宮澤善弘	14
心に残る名僧たち	田島 栄	22
連載 民話をたずねて	石崎敬子	30
響流十方	袖山榮輝	38
新連載・食と健康	長田英樹	42
シリーズ詠唱 木更津選擇寺		44
Jフォーラム		47
浄土誌上旬会	選者＝増田河郎子	48
マンガで楽しい仏教用語	藤井ひろし	51
編集後記		52

表紙題字＝浄土門主 中村康隆 祝下
 アートディレクション＝近藤十四郎
 協力＝迦陵頻伽舎



5月

◆表紙の言葉◆

能素描

采女

うねめ

作者は世阿弥。春の春日の里に
くりひろげられた采女の悲恋の能
である。

采女とは、天皇の食事に侍った
女官で、容貌美しく、賢い女性が
選ばれたとされる。

春日神社に参詣の僧は、境内で
木を植えている女性に会う。その
ひとは僧を猿沢の池に案内して、
天皇に恋し、やがてその寵愛のう
すれたのを悲しんでこの池に身を
投げた采女の話をし、自分はその
采女の幽霊だと告げて消える。

僧が回向しているとやがて宮中
での正装の采女の霊が現れて回向
を謝し、采女の死をあわれんだ天
皇の和歌を詠ずる。

わぎもこ
吾妹子が寝ぐたれ髪を猿沢の
池の玉藻と見るぞ悲しき

なおも回向をたのみながら男子
に変成して成仏し、国土安穩を寿
ぎ序の舞を舞いながら猿沢の池に
姿を消す。

表紙画と文

鈴木奈緒

プロフィール 1947年 三岸節子先生に師事
1950年 女流画家協会展 H 婦人賞受賞
1983年 秋耕会展 女流会長賞受賞
1994年 秋耕会展 文部大臣賞受賞
個展23回開催

心に残る
名僧たち

田島
栄

劇作家

よき人にめぐりあい、優しくあたたかく導かれれば、人間は必ず変わると信じています。

一、法然上人の願い

私の所属する前進座は創立七十一年目を迎える古い劇団です。そして歌舞伎や時代劇など、日本の歴史や伝統を扱った芝居づくりを中心にしてきました。歴史の中からいろいろなことを学びました。私たちの祖先はたくさんのおい遺産を子孫のために残してくれています。

しかし、われわれ現代人は日本のよい伝統を大切にしているとは思えません。目先ばかりの新しさ、西洋的なもののばかりを追いまわして、自分の祖先たちのすばらしさを忘れているのではないかと痛感します。今の道徳の乱れや恐ろしい犯

罪は、実はそのことに深い関係があるように思えてなりません。

そういう考えから出発して、私たちは日本の心をつくり出した仏教に関心を深めていきました。そして『天平の甕』にはじまり、『親鸞』『日蓮』『法然』『空海』『蓮如』と、仏教をテーマとした劇を上演し続けてまいりました。

私は『親鸞』のときに台本協力として参加し、その師・法然上人に出逢いました。「日本にこんなすばらしい人がいたのか……」と驚嘆しました。それで、『法然上人劇』が企画されたとき、「この劇だけは私に書かせてくれ」と申し出ました。

混乱、殺伐とした現代に生きている人びとに、法然上人の心を伝えることが、何よりも時機相応の仕事だと信じたからです。

しかし、どんな正しい教えでも理論で解説しただけではたりない。人情にも訴えていかなければ、老若男女幅広い人びとの心をゆさぶることはできないと思いました。そこで浄土宗の先生方を訪ね歩いて私の思いを率直に話し、教えをうけました。

法然上人生涯の進路を決めたのは、勢至丸と呼ばれていた九才の時に、敵の夜討ちをうけて、父の漆間時国が倒された事件にあるといわれています。

「かたきを恨んではならない。もし恨みをもつて敵を討てば、敵の子はまたお前を仇と狙い、争いはいつまでも続いていくであろう。それよりも私の菩提を弔い、人としてのまことの道を求めて生きよ――」。すばらしい言葉です。今、世界中のすべての人びとに伝えたい思いです。

しかし、私は父の遺言と共に、夫を失

い、ただ一人のわが子とも別れなければならなかった、悲運の母への慕情も深かったに違いないと想像します。こんな話があるんです。

幼い勢至丸と別れてから、そのお母さんは雨の日も風の日も必ず街道に出て、辻堂の脇の石燈籠に灯を点して、遠い都の空を仰ぎながら、わが子の無事を祈りました。

法然さまの晩年のことですが、弟子がお上人の像を作りたいと願うと、ふところから古い手紙の束を取り出して作らせたという話があります。それは、幼い頃に別れた母からの手紙だったのです。何十年もの間、ずっと肌身離さず身につけて、母といっしょに念仏を称え続けてきたのです。人間法然のあたたかさ、そのあたたかい心から生れた浄土宗が、いかに情愛にあふれた、

血の通った教えであるかということ、誰にでもわかるように示した話ではないでしょうか。

法然上人は一生父母のことを忘れなかった。その父母は死ぬまでわが子に限りない愛情をそそぎ続けました。ですから私は、浄土宗の教えは、子を思う父母の慈愛の心から生れたと解釈して、劇を創っていきました。

また、熊谷直実が訪ねて来て、殺生の罪を悔い、救いを求める話も有名ですが、熊谷は自分一人の助けを願ったではありません。その胸中は、戦場で倒れた友の魂、恨みをのんで死んでいった敵の霊は、いつたいどこをさまよっているのだろうか……。敵味方幾万の靈魂を救う法があるのだろうか……。という思いでいっぱいだったろうと察せられます。熊谷の苦悩に対して――、幼い頃に父を殺さ

れ、母と悲しい別れをした法然さまがなんとお答えしただろうか……。私は知恩院の御廟の前でずいぶん考えました。

人間同志が憎みあい殺しあう戦争のない、平和な世の中を招来しよう。そのためにも、人間すべてのしあわせへの願いがこめられた本願の念仏を、日本のすみずみまで拡めよう。それが法然上人の生涯の願いではなかったのでしょうか……。

私はこれからも、法然上人のやさしさとあたたかさを語り続けていきたいと思っています。

二、鑑真和上の決意

前進座は五月十六日から二十六日迄、東京の国立劇場で、日本と中国の文化交流にはかりしれない貢献をされた唐

の名僧鑑真和上来日一二五〇年を記念して、井上靖原作『天平の薨』を上演いたします。

古代日本は仏教を支柱として新しい国づくりをめざしていました。大陸の文化から学ぼうと幾度も遣唐船を派遣しましたが、大海を渡ることは生死を賭けた冒険を伴います。

今を去る一二七〇年もの昔、若手留学僧たちが青雲の志に燃えて船出します。栄叡、普照、玄朗、戒融の四人です。唐にたどり着いたかれらは、日本の仏教を正しく導く立派な律師を求めて各地を漂泊し、ようやく鑑真和上に出会います。だが、和上の大勢の弟子のうち、「日本へ行こう」と言ってくれるものは誰一人出てきません。この時の鑑真和上の言葉がすばらしいんです。

「法のためである。たとえ渺漫たる滄海

が隔てようとも、生命を惜しむべきではあるまい。誰ぞ行く者はないか。お前たちが行かぬなら、私が行くことにしよう」——胸がゆさぶられ涙が出てきます。

また、和上と青年僧たちの心のふれあい、とても美しいんです。（普照が洛陽の都で知り合った業行という僧の、ひたすら写経に専念する姿も印象に残ります）

だが、さまざまの障害に阻まれて訪日の夢はなかなか実現しません。戒融は托鉢をしながら広大な山谷を歩きたいと去って行き、玄朗は僧衣を脱いで中国の女性との愛に生き、激しい情熱と行動力でみんなをひっぱってきた栄叡までも過労のために病死してしまします。残されたのは普照ただ一人です。普照は栄叡の遺志を受継ぎ、遂に目的

を果します。

留学僧たちが遣唐船に乗って出発してから二十年、鑑真和尚が訪日を決意されてから実に十一年もの歳月がかかっているのです。この間、一行は艱難辛苦を重ね、五度も航海に失敗して、和上は盲目になりながらも、六度目にやっと海を渡ったのです。

そして和上は奈良の都へ入り、東大寺戒壇院、唐招提寺を建立するのでした。

日本に着いた鑑真和尚一行に法論を挑んだ学匠たちに、普照が応じた叫びは「しんと腹にこたえます。……一切の諸欲を捨て、衆生済度のために常闇の中より光明を求められるこの大和尚の、お眼を見てくれ。仏法を日本に伝えるために幾百幾千という者が死んでいることも考えてほしい……」

『天平の甕』は日本の青春のロマンです。

仏法の弘通と日中友好のために生命を燃やした先人たちの雄大なスケールの歴史絵巻です。

私たちはこの劇を知らんになった皆様が大いに楽しみながらも、仏教について語り合い、そこからお寺さんと檀信徒の方がた、隣人の間に一層の交流が生れるような、人と人との心をつなぐ劇を、前進座の総力をあげて一所懸命つくります。浄土宗の皆様、なにとぞご指導とお力添えをお願い申し上げます。

なお、五月東京に続いて、平成一五年二月八日から二六日まで大阪国立文楽劇場公演、そして、十六年まで二年がかりで全国巡演を企画しております。京都と名古屋での長期公演も予定しています。

天 平 の 夢 ● あ ら す じ

——天平勝宝六（七五四）年の早春、唐の名僧鑑真の一行は、数次におよぶ渡航の失敗のすえ、日本に到着、奈良の都に入った。古代文化史に特筆すべき出来ごとだった。「天平の夢」は、そのかげに秘められた、五人の若い留学僧のそれぞれがたどる数奇な運命のものがたり——

——海上交通はすべて風次第だったころ、遣唐使の行き帰りは、しばしば漂流にまかせるほかなかった。若い僧たちは、大陸のすぐれた仏法を、ひいてはその高い文化を日本に請来しようと青春の情熱をもやし、生命をかける覚悟で船に乗り込んだ。

唐の新しい文明に触れ、五人のうち業

行（志村）は、ひたすら写経に日夜を忘れ、戒融（松浦）は、大陸にとどまり、真理を求めて天竺（インド）に行脚する。また玄朗（菊之丞）は当地に妻を得て帰心をあきらめる。

鑑真（圭史）に会い、法のためにみずから「日本に渡る」と言われた栄叡（梅雀）と普照（國太郎）の驚きと喜び。だが鑑真の出国を妨げる役人の手で栄叡は入牢、やがて病死する。普照は、くじける心とたたかいながら、あいつぐ苦難で失明した鑑真とともに日本へ……。

前進座が総力をあげておくるスケール雄大な「天平絵巻」——

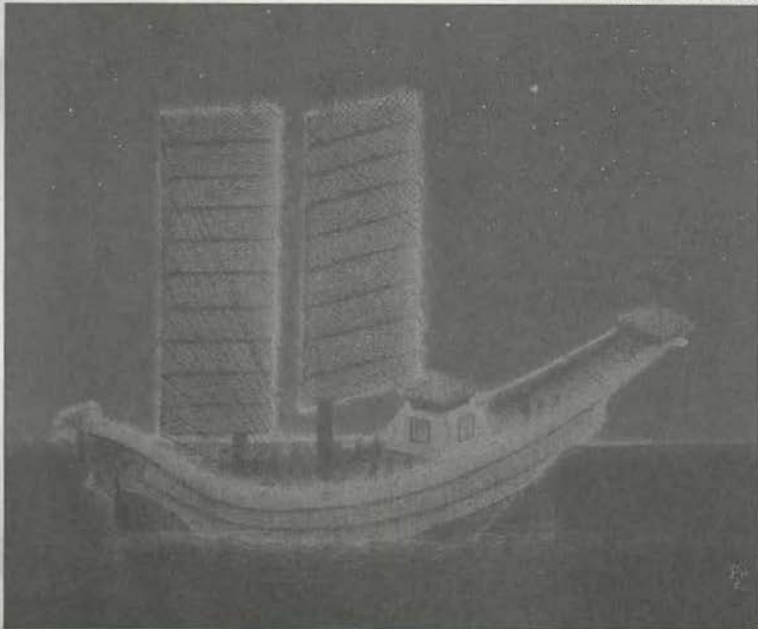
前進座5月国立劇場特別公演
鑑真和上来日1250年記念／日中国交正常化30周年記念

天の夢

原作・井上 靖

監・唐招提寺長老 益田快範

若い留学僧たちの命をかけた熱い願いに応え
唐の高僧鑑真は、あいつ々苦難による失明にもめげず来日を果たした。
詩情あふれる壮大な歴史ロマン



音楽 美 演 舞
美術 新 出 色
演出 中 伊 十 依
助 嶋 藤 島 田
役 八 熹 英 義
務 郎 朗 明 賢
文 衣 効 照
芸 芸 協 力
田 伊 田 寺
鳥 藤 村 田
静 義
栄 夫 恵 雄

高ノ千七 舞臺・流石



左から 高ノ千七、中村錦之助、中村錦之助、中村錦之助、中村錦之助、中村錦之助、中村錦之助、中村錦之助

主催／劇団前進座 共催／朝日新聞社 後援／朝日新聞社・全日本仏教会 放送／TBS・中華人民共和国駐日本国大使館・日本中国文化交流協会 協賛／①新藤社

三宅坂 国立劇場大劇場 5月16日(木)～26日(日)
●料 金 一等席 9800円／二等席 4000円／三等席 2500円

	16(木)	17(金)	18(土)	19(日)	20(月)	21(火)	22(水)	23(木)	24(金)	25(土)	26(日)
昼	11:30 売切	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
夜	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30	8:00	4:30	4:30	4:30	4:30	4:30

お問い合わせ
お申し込み

●前進座東京営業所
TEL 0422(49)2811
FAX 0422(45)0312
●チケットぴあ 03(5237)9988

前進座東京営業所 〒180-8570 東京都武蔵野市吉祥寺南町3-13-2 URL <http://www.zenshinza.com/> 制作／武藤 挺一・松永 耕次

民話

をたずねて

連載

石崎敬子

飯食わぬ力力



SHIKAWA

とんと昔あったけど。

あるところに、若者がおったけど。

ある日、戸の口で、

「飯を食わぬ力力が、欲しいなあ」

って、独り言をつぶやいたけど。

ほしたら、晩げになつてから

「お晩でござります。おら、飯を食わぬ姉コだども、嫁にしてくだ

され」

って、なんともきれいな姉様が入つて来たけど。

ほんとに飯を食わぬのならばと、若者は喜んで姉様を力力にした
けど。

力力になった姉様は、その晩から何日たつても飯ひと口、お汁ひ
とすすりもせず、まめにくるくると働いておったけど。

「飯も食わんとよく働く、ええ力力だ」

って、初めの頃は若者も目を細めて喜んでおったけど。

ほんでも、不思議なことには、米櫃の米コやら、味噌瓶の味噌コやら、知らぬうちにどんどん減っていく。

「おかしいこともあるもんだ。飯を食うのはおら一人のはずだが」
って、底が見えそうになった米櫃や味噌瓶を前にして、若者は首をかしげておったけど。

こんな減り方はおかしい、何かあるに違いないって、ある日のこと、若者は山へ柴刈りに行く振りをして、天井の裏板に登って隠れておったけど。

ほしたら、若者が隠れておるとは知らずにカ力は、わらわらと火を焚いて、大鍋かけたけど。ざくざくと米を洗って、大釜には味噌汁一杯作ったけど。

そのうち、飯が炊きあがると、カ力はけたたてって笑い笑い、頭の髪をばらりと解いて、頭のとっぺんをばっくり開けたけど。なんとそこには大きな口があったけど。カ力はその口へ握り飯一つ入れ、次に味噌汁一杯入れ、また握り飯一つ、味噌汁一杯って、みな投げ

込んだけど。

すっかり平らげたカ力は、元通りに髪を結って、何事もなかったような涼しい顔をしてたけど。

その様子を裏板で見ていた若者は、あまりのことに血の気もひき、身体ががたがたと震えてすぐには動けなかったけど。

「ああ、おつかねえ、おつかねえ」

って、若者はやつとの事で逃げ出したけど。

それに気付いたカ力は、角の出た鬼になったけど。

「見たな、見たな、待てえ」

って叫び、カ力は大きな桶を担いで、ずんずん追っかけて来たけど。

若者はすぐに捕まって、桶に入れられたけど。

ほして、カ力は、よっこらしよと桶を頭に担いで、山の奥へ、どがすか入っていったけど。

このままではカ力に食われてしまうと、若者は、木の枝が桶のへりに障ったとき、その枝に捕まって逃げ出したけど。



そうとは知らぬカカは、ずんずん歩いておったが、そのうち桶がえらく軽くなったことに気が付いて、若者をまた追っかけてきたけど。

「待てえ、逃がしてたまるかあ」

って、カカの声が背中に届きそうになったけど。

「おらの後ろに大きな山でろっ」

って、若者は逃げながら叫んだけど。

すると、若者の後ろに大きな山がずんと現れたけど。ほんでもカ

カは平気で越えて来る。

「待てえ、食ってやるう」

って、カカの声がまた背中に届きそうになったけど。

「おらの後ろに大きな川でろっ」

って、若者は逃げながら叫んだと。

すると、若者の後ろに大きな川がずんと現れたけど。ほんでもカ

カはその大きな川をひょいと平気で越えて来る。

今にも捕まりそうになり、とがった爪が届きそうになったので、若者はどうしようもなく、菖蒲と蓬の茂る藪の中に潜ったけど。

若者を追っかけてきた力力は、藪の前でびたりと止まり、

「口惜しや、口惜しや。オラは菖蒲と蓬は一番嫌いだ。ああ、身体が腐る。おつかねえ、おつかねえ」

って、叫び、齒をぎりぎりい寄せたけど。

力力はどうすることもできず、そのまま山へ逃げ戻ったけど。

ほんで、ほれから、五月の節句には、魔除けの菖蒲と蓬の二色の草を使うようになったんだけど。

どんびん、さんすけ。

ひざ・ひじ・肩・腰の

関節の痛み、 がまんしていませんか？



全国75万人以上、つらい関節痛でお悩みの方に朗報です。

ひざが痛くなる仕組み



「歩くのがつらい」「正座ができない」「階段の昇り降りがひと苦労」など、ひざが気になる中高年はたくさんいます。これまで特効薬がないとされてきた関節症ですが、あきらめないでください。いま話題の天然栄養素グルコサミンが、痛みのもとに直接働きかけて、あなたの関節をラクにします。

そしてグルコサミンの決定版といえ、**「元氣堂粒」**。カニの甲羅から抽出したグルコサミンとサメ軟骨抽出のコンドロイチン、さらに、神経痛などへの効果から「奇跡の貝」と呼ばれている緑イ貝エキスや、理想的なミネラル補給食材として注目の天然成分ドロマイトなどを配合し、のみやすい粒状にしてあります。まずは30日間、おためしください。

長年のひざの痛みを忘れて、
鼻歌が出るほどうれしい!!

痛くて正座もできない。そんなとき、ふと目にしたのが「元氣堂粒」の広告でした。のみはじめて2週間目の朝、驚いたことに痛みが消えていたんです。思わず鼻歌が出るほどうれしかった。これは本当にすごいと思いました。



藤本照子さん
(長野県・67歳)



選ぶなら、たしか品質の本物を！
天然の栄養素だから安心です。

●グルコサミンの原料には、山陰を代表する漁業基地・境港で水揚げされた新鮮な日本海産ベニツウィガニを使用。コンドロイチンには宮城県気仙沼産の厳選したサメ軟骨を使用しています。高品質をお求めの方には「元氣堂粒」をおすすめします。

■主要成分：グルコサミン塩酸塩/コンドロイチン硫酸/ドロマイト/緑イ貝エキス/大豆イソフラボン/生姜エキス

商品のお申し込みについて(元氣堂本舗からのお知らせ)

げん き どう づぶ
『元氣堂粒』10,000円(税別)

■内容量300mg×300粒・約1ヶ月分

※送料は数量にかかわらず全国一律500円。

※3ピン以上のご購入は10%割引になります。

- 商品は1週間前までお届けいたします。●代金は商品到着後1週間以内に郵便振替でお支払いください。ただし3ピン以上ご購入の際は代金引換でお支払い願います。
- 返品は商品到着後8日間以内。ただし送料はお客様ご負担。開封後の返品はご容赦願います。

ご注文は電話かハガキかFAXで



0120-13-8869

受付時間(年中無休)
午前8時～午後9時

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-34-7

(株)元氣堂本舗 浄土係



FAX 03-5777-5149

※ハガキまたはファクスでご注文の際は、郵便番号、ご住所(フリガナ)、お名前(フリガナ)、生年月日、性別、ご職業、お電話番号、商品名、数量、ご買になった雑誌名をご記入ください。

インターネットでもお申し込みになれます。 <http://www.genkidohompo.com/>

何一つ悪意なき人、純粹で汚点なき人に対し、邪険にあげつらうことがあれば、そのような愚か者には何かしら悪しきことが舞い戻ってくる。まるで、風に逆らって投げつけた粉塵のように。

（釈尊『スッタニパータ』第六六二偈）

風に逆ろうことなかれ

長野市街を一望できる山の中腹にA寺がある。あのT知事がいる長野県庁まで直線距離にすれば五〇六〇〇Mであろうか。しかし、標高にして四〇〇M前後。そこまで登れば人家も途切れ、新緑に囲まれたなか、昼間から静寂を味わうことができる。

そのA寺のご住職と、過日、一緒にタクシーに乗る機会があった。道すがら最近のモラルやマナーに話が及んだ。すると住職。

「私の寺のような山の中でも、わざわざゴミを捨てに来る人がいるんですよ。この間も市立図書館の本が袋に何冊も捨てられていましたね、引っ越しか何かで整理に困ったんでしょうが、図書館の夜間返却口に突っ込んできた方がよっぽど楽だと思うんですよ。結局、私が返してきました。」

返却期限が過ぎていれば、本を返すのにもばつが悪かろう。でも、夜間返却口を利用すれば人目を気にする必要もない。にもかかわらず、山中に捨てに行く。だとすれば、最初から返す気などなかったのではないか。私には、そう思えてならないのである。

野山にゴミが放置されているのは、全国的な傾向なのであろうか。秋田もそうであると知ったのは、先ごろ、日本衛生動物学会賞を受賞した栗原毅氏を紹介する新聞記事でのことだった。

氏は現在七十歳。蚊の生態に関する研究が評価された。蚊の行動や習性を知ること、蚊を媒介とする病気について予防策が講じられるのだという。三十歳代でWHO「世界保健機関」の職員となった氏は、タイやスリランカなどアジア各地に赴任し、マラリアやフィラリアなどの予防策を伝え歩いてこられた。現在、国立感染症研究所で客員研究員を務める氏の関心事は、もともと熱帯地方に生息するヒトスジシマカという蚊の国内分布状況である。

物資の流通範囲の拡大や地球温暖化を背景に北上を続けるこの蚊は、じつは「デング熱」という高熱を発する病気を媒介する。幼いお子さんが罹ると命に関わるほど危険である。氏の調査では、現在、秋田県の野山にまで棲息域の拡大が確認され、しかも、捨てられたタイヤや空き缶を「すみか」にしているというのだ。

ヒトスジシマカの北上を、やれ物流拡大のせいだ、地球温暖化の影響だと言ってしまうのは容易い。しかし、他人事にしてすむ話ではない。氏の言葉を借りれば、この蚊の棲息拡大は「人間のだらしない暮らしに依存してる」のである。実際、蚊のすみかを提供しているのは私たち自身に他ならないのだ。

冒頭の言葉は釈尊の教えである。「悪意なく純粹で汚点なき人」とは釈尊自身のこと。釈尊に対し邪険に振る舞う者がいたとしても、その振る舞いを受け取らず、跳ね返してしまうという意味である。野山も大自然も同じことだ。野山自身に欲望や煩惱はない。何も言わず、私たちの目や耳を楽しませ、そして安らぎを与えてくれる。しかし、本や空き缶、タイヤを放置するなど、私たちが身勝手な振る舞いをすれば、それらの形を変えて差し戻して来るのである。風に逆らって粉塵を投げつければ、災いはその者に降りかかる。浄土宗のいう「愚者の自覚」を持つならば、日ごろの暮らしぶりから見直さねばならないだろう。

(浄土宗総合研究所 袖山榮輝)

健康に人生を送る

十力条・長田流

二一世紀のスタートが還暦と重なったわたしは、その年を迎えるにあたって「自然食の実践では日本一になる」と誓い、宣言して、それを目標にした毎日を過ごしています。

若い頃から「器用貧乏」とあだ名がつく程、あらゆることに興味を示し手を染めてきましたが、何ひとつ「いちばん」にはなれませんでした。残りの人生、せめてひとつだけでも日本一があつていいだろうというのがその理由です。

(財)自然農法国際研究開発センター研究員

長田英樹



これには伏線があります。不景気の世の中にあつてふえつづける医療費・すなわち病人がふえることと食には、深い因果関係があると思ひてきたことです。

一九八七年、四六歳にしてはじめての単身赴任が札幌でした。それまで他人ごとだと思つてきた単身赴任が現実になったとき、真先に食生活がどうなるかが恐怖となりました。外食になじんでいた先輩たちが、その積み重ねで健康を害してきた事実を見聞してきたか

からです。

嘆いていても仕方ありませんので、自分の健康維持のために「料理をおぼえて自然食をどこまで徹底できるかやってみるぞ」と決意して自炊生活に入りました。以来一五年、途中で居住地が静岡県に変わりましたが、自信もつきましたので日本一を目標に掲げたところです。

前号に記述のとおり国民総医療費が三〇兆円を突破しました。六〇年間「無医薬」で生きてきたわたしには「なぜこんなに病人がふえるんだ」とふしぎに思えます。しかし、手をこまねいていても仕方ありませんので、自分の人生を回顧しながら「健康に人生を過ごす十力条・長田流」なるものを作成して「元気に生きよう」と訴えているところです。

この前提は「自然治癒力を高めること」であり、先人の教訓やわたしの実体験にもとづく実践訓です。次回から下記十力条について説明してまいります。

1. 現代栄養学の矛盾に気付く（栄養過多が病気をつくっている）
2. 調味料や加工食品から食品添加物を徹底排除（薬禍被害を意識する）
3. 自然穀菜食の徹底（自然農法産の穀物野菜・身土不二）
4. 調理、飲用など口に入れる水に注意（水道水の塩素・トリハロメタンなど）
5. 肉食は高級なものを月一回程度（肥育・飼育段階での薬害）
6. 魚は光もの（養殖魚・切り身を排除）
7. 快便五力条の達成（毎日・五〇〇g・黄色・匂い・浮く）
8. 明るい発想・大いに笑う（NK細胞を増殖させる）
9. 右脳主、左脳従の生活習慣（痴呆症の職業別発症状況にもとづく）
10. 早寝早起き・毎朝三〇分の散歩・五分間の体操（睡眠は四〜五時間で可）

選擇寺詠唱会

君去らず 袖しが浦に 立つ波の

その面影を 見るぞ悲しき

日本武尊と弟橘媛の伝説の町、木更津。

「きみさらず」が「きさらず」という地名の起こりのこの町は、江戸時代には、港町として大いに栄えました。そしてこの木更津に選擇寺が開創されたのは、一四五四年です。

さて、一昨年当山檀徒の方が、「念仏集」と表題に書かれた冊子を届けてくれました。聞くと、「私の祖母が使用していた。」とのこと、その中には、経文とご詠歌が記されていました。多分、かつて当山にありました「念仏講」の方々が、ご本堂で住職と一緒に、お経を読誦し、更にご詠歌を唱えていた時の



木更津

選擇寺

教本だったようで、その中には選擇寺のご詠歌も記されていました。

有難や 阿弥陀の光 あるゆえに

あの世の道に あかりさすらん

当山のご詠歌講の由来は、まさにこの「念仏講」の方々により伝承されてきたのです。

さて、戦後直ぐに当山に金剛流のご詠歌講が誕生しました。檀徒を中心に、熱心にお稽古がなされ、上総・房総地区の検定試験があり、選擇寺を会場として、行われたこともありました。しかし、お仲間が一人一人と減り、十数年にて自然に解散状態となつたのです。

その後、現在の吉水流での詠唱会が発足しましたのは、昭和六十年三月のことです。毎月二回のお稽古。「おつとめ・信条・宗歌」の順に拝読・唱和の後、練習がはじまります。

和讃・詠歌の意味の説明や、時には法話等もまじえながらのお稽古です。一時間半、大きな声でのお稽古が終わると、楽しい茶話会です。その時のお茶がなんと美味しいこと。



詠唱会の皆さまには、当山の行事にも積極的に参加をして頂いています。施餓鬼法要・十夜法要には毎回、ご奉納しておりますし、三年前になりますが晋山式には、お練り行列に参加し、全員和服、立ち打ちにて「慶祝和讃」を道中ご奉納頂きました。この慶祝和讃を習得するに大変ご苦労されましたが、今では楽しい思い出の一つとなりました。また、最大の奉納発表の場所は、大本山増上寺の「御忌詠唱大会」です。

毎年御忌参りをさせて頂き、一年間の練習の成果を法然上人前にて、奉納させて頂きます。千数百人を前にしての奉納です。緊張しますが、奉納する喜びも感じる次第です。

詠唱は念仏の助業。吉水講は人づくり和づくりと考えます。詠唱の糸で結ばれる多くの同信同行の皆様が、この道を通して、信仰に満ちた、生甲斐のある人生を歩まれることを祈念して結びとさせて頂きます。

合掌

山本恵司



寺院便り、次回は東京・梅窓院



FORUM

浄土の広場

「浄土の広場」では

読者の自由な参加をお待ちしています。

詩、エッセイ、短歌、俳句、川柳、書評、映画評、

TVウォッチング、紀行文、その他創作等。

あるいは会員各寺院での催しの告知、報告など。
どしどし編集部にお寄せ下さい。

浄土誌上句会



〈特選〉

水煙の天女笛吹く雲の春

片桐てい女

●雲

水煙は、塔の一番上にある火焔状の装飾で

ある。笛を吹く天女といえは、薬師寺の三重の塔だろう。東塔と新しく出来た西塔の双方を仰いで、見比べたりしているのだろうか。

「雲の春」が句をしつくり支えている。

〈佳作〉

葉桜や雲少しずつ重くなる

滝 秀志

空に舞う風船追う子雲一つ

谷 しげ子

沖あいの雲見て暮らす冬帽子

池田 伊吹

●家

〈特選〉

受験子の家を出てよりふりむかず

山本美代子

受験というのは、何にしても人生の関所の一つである。殊にわが国では入ってからよりそこを通ることに力を尽くす。今日はその受

選者=増田河郎子

〈特選〉

糶り終えし魚の目乾く霾ぐもり

蘭田 郁子

●自由題

験の日だろう。家を出たらふりむかないとい
う姿に、その意気込みを感じる。

〈佳作〉 どの家も欲しくなる日の桜かな

野中 弘毅

窓閉ざす島の家並み東風荒き

浜口 佳春

浮き沈み蝶々家を抜けゆきぬ

増田 信子

魚市場の風景である。次々と魚が糶られて
行く。それらを見ていて、糶り終えてとろ箱
に入っている魚の目の乾きを、ふととらえた
のである。黄砂の盛んな時季で、沖は黄色く
霞んだように見えている。

〈佳作〉 本降りとなりたる夜のまくらかな

中島富士子

おきとしにうなずく園児涅槃の日

周東 澄江

春寒の海の風くる峠かな

加藤 政男

法然上人讃仰会
公開講演会のお知らせ

法然讃歌

生きるための念仏

浄土誌上旬会の
お知らせ

題

③季語ではありません

庭心
自由題

締切・五月二十日

発表・『浄土』二〇〇二年七月号

選者・増田河郎子（『南風』主宰）

応募方法

●いずれの題とも数の制限はありません。

●特選各1名・佳作各3名

葉書に俳句（何句でも可）と、住所・氏名を必ずお書き下

さい。

宛先

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内

月刊『浄土』誌上旬会係

講師 寺内大吉（大本山増上寺法主 成田有恒）
日時 平成14年6月17日（月曜日）
午後3時より4時半まで
場所 大本山増上寺三縁ホール（本堂地下一階）
東京都港区芝公園4-7-35
03-3432-1431

地下鉄都営三田線・御成門駅下車徒歩5分
地下鉄都営浅草線・大江戸線・大門駅下車
徒歩7分
JR線／浜松町駅下車徒歩10分

定員 250名
会費 無料

申し込み 一般 千円（抽選にて30名様無料）
往復はがきに住所、電話番号、氏名、年齢、
職業、参加希望人数（三名様まで）を明記
の上、下記宛にお送り下さい。

なお、返信ハガキの表に「自分の郵便番号、
住所、氏名を記載して下さい。」
締め切り 5月20日消印有効

講師略歴／なりた・ゆうこう

大本山増上寺第八十七世法主。作家。19
21年、東京世田谷の浄土宗大吉寺に生ま
れる。『はぐれ念仏』で直木賞を受賞。著
書に『法然讃歌』（中公新書）、『化城の昭
和史』（中公文庫）ほか多数。

法然上人讃仰会 講演会係
105-0011 東京都港区芝公園4-7-4
電話 03-3578-6947
ファクス 03-3578-7036

漫画で楽しい仏教用語

漫画・藤井ひろし

観念

「かんねん」しろ、と言えば、一般的にはあきらめろとか覚悟しろという意味ですが、仏教語となると大きく意味が変わって、仏陀の姿や物事の真理をよく考えることという意味になります。

さらにこの「観念」は浄土教では阿弥陀さまを念ずることになりますが、浄土宗ではこの観念の念仏もいいが、ただ念仏を称えることの大切さを説きます。

うーん、今回は最後まで難しい話になってしまいましたので、観念して下さい。



・シチョウウ……いくら逃げてもらはじつこまでいけば必ず取られる形。

編集後記

鎌倉に晋山めでたき初夏の風 岱潤

国会議員があいついで二人辞任をした。また元外務大臣も厳しい局面を迎えている。いずれもマスコミの報道がきっかけであったり、引き金になっている。しかし元外務大臣がいみじくも言っているように、誰かが情報をマスコミに売っているとは思えない状況だ。

政局は昨年小泉内閣誕生以来、従来主流派であったところが主流派でなくなったこと、またその非主流派の中堅が火祭りになったことから始まっているようにも思える。憎き敵を人知れず倒しておこうという、策略に思えてならない。

また告げ口には、弱者が強者に対し

て僻みから行うことがある。この場合はストーリーのごとく、実にねちっこく行われることが多い。そして行っている本人は罪の意識を持たず、正しいことをしているかのごとく思いこんでいるものの、決して表には出さない。いづれにしても告げ口によって人を、そして組織にダメージを与える方は、戦略のひとつかもしれないが、陰湿な汚いやり方であることに変わりはない。

仏さまは大局から見ていて、そうした告げ口をしている人々を、最低の悪人と判断し、深いあわれみを寄せることだろう。

(長)

ホームページ <http://www.jodo.ne.jp>

編集チーフ
編集スタッフ

編集顧問

大室了皓

長谷川岱潤
斎藤光道
村田洋一
佐山哲郎

浄土

六十八巻五月号 頒価六百円
年会費六千円

昭和十年五月二十日第三種郵便物認可

印刷

平成十四年四月二十日
発行 平成十四年五月一日

発行人

編集人

印刷所

株式会社

〒一〇五・〇〇一一

東京港区芝公園四・七・四明照会館内

発行所

法然上人鑽仰会

電話〇三三・五七八・六九四七

FAX〇三三・五七八・七〇三六

振替〇〇一八・〇八八・二八七

真野龍海
佐藤良純

シーディーイー

New & Used Cars
Takata & Co., Ltd.
SINCE 1965

あなたの一台を世界から
ベンツ・ボルシエ・
フェラーリ・ロールスロイス・

国内の各ディーラーにも

在庫の無い車種でも

世界中から輸入しお届け致します。



最新在庫情報をご覧になれます。

<http://www.takataco.jp>
E-mail: union@takataco.jp

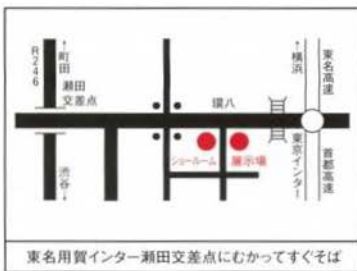
UNION

輸入元(外国自動車輸入協同組合員)
株式会社 高田商會

東京都世田谷区玉川台2-12-1 (〒158-0096)

営業時間：平日／9:30～20:00 日祝／10:00～18:00
定休日／年中無休

☎03-3708-1911 FAX.03-3708-2066

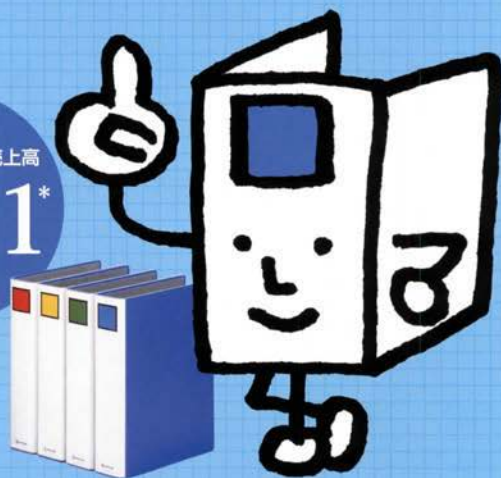


KING JIM

「グリーン購入法」
適合商品一覧表
ホームページで公開中!

パイプ式ファイル売上高

No.1*



ありがとう

日本中のオフィスで、選ばれ続けてきました。

1954年に日本で初めてパイプ式ファイルを発売して以来、私たちキングジムは、延べ3億冊のファイルを世に送り出してきました。どの職場でも、必ず見かける **■**マークのファイル。その名前は知らなくても、カタチを見ればきっと、「あっ、あのファイルね」と思われることでしょう。そしていつのまにか、キングジムのファイルはお客様の間で「キングファイル」という愛称で呼ばれるようになりました。そこで私たちは、このニックネームを大事にしようと考え、当社のパイプ式ファイルの名前を「キングファイル」に統一することにいたしました。日本全国の職場、ビジネスマンやOLのみならず愛用されて、3億冊。これからは、**■**マークの「キングファイル」とお呼びください。

*パイプ式ファイル売上高：矢野経済研究所調べ

日本のスタンダードファイル
キングファイル



ISO 14001
環境マネジメントシステム
認証工場



ISO 9001
品質マネジメントシステム
認証工場